



### 平警察署の増築は 來月中旬頃に取り工

#### 請負入札の公告

#### 各室の陣立整然

平警察署の裏二階増築は愈々來月中旬頃から起工する事となり縣は左記の如き工事請負入札の公告を爲した

### 海中へ墜落

#### 夜間飛行中止

既報去る二日平町の上空を飛んで飛んだ土浦仙台間夜間飛行の一番機山形榮大尉操縦市川二等兵曹同乗のアール三三號機は他の二台と共に午後六時宮城ヶ原を出發歸航の際折悪く濃霧の爲め前進不能となり發動機に故障を生じ宮城縣互理郡笠の濱の海中に墜落し機体は大破したが兩名は幸ひ無事で墜落機は同所消防組員總出で引揚た是れが爲め夜間飛行は一時中止となつた

### 改修を實施

#### 漸く復活

石城郡小名濱植田玉川泉絞川の五町村六百八十町歩の水田に灌漑するため今から廿年前工費廿萬圓を投じて開鑿した絞川疎水は設計に不備の點あり技術にも缺陷があつたので失敗に終り通水することが出来ずにゐるが縣耕地調査ではこれを遺憾とし調査の結果一部を改修すれば復活使用に堪へる見

込みがついたので約卅萬圓内半額は國庫補助の工費を取り地元と協議の上實施する方針を決定した

### 橋本合名の地代を 一躍倍以上に値上

#### 平町の借地人百餘名狼狽 對抗策を協議中

南町料理店松本樓に十九日

午後一時頃一人の賊忍び入り半額は國庫補助の工費を取り地元と協議の上實施する方針を決定した

#### 警城高女の

（第八信）十七日の朝となり起き出でますと血塗の様な眞赤なお日様が淡く雲の間からぼんやり顔をのぞかせて居りました。此處の宿を取らぬものも取りあへず大急ぎで出發して六時四十分の汽車に乘込みました。富士山は遠くには見えません。藤澤に十時卅七分に着き電車では江島へ向ひました。非常に見晴らしのよいお茶屋で食事を致しました。ながめはよかつたが松榮館からのお辨當がまずくてのどに通りなない位はにさだらなくのつばやき



家庭欄

#### あま鯛味噌づけ

あまがヒの新しものを選び一人あての切身として鹽をふりかけ約一時間もたきますと、とけて流る様にな

りまどからその時水洗いして布きんにて水をふきとり別の器にみそを入れ酒に砂糖をスーブスー一杯入れてごろ／＼にときあまがヒをつけ半日程も経てから取りしみを布きんにてふきとり魚くしにさしておきますもやしシヨウガは筆の形に拵へおきユリをよく水洗

### 常磐片々

橋本合名の地代、突如倍額以上に値上、高くて住み切れなかりやア地代の安い郡山へ来いとも云ふ譯か

平署に寫眞機備付く、刑事連珍らしがつて矢鱈に寫し現象すると眞ッ黒

泥棒を掴へるのより此の方が餘程面倒なそうだ

若松の水道起工式に臨んだ井上縣議、感ありとて寄せて曰く「俗腸を洗ひつつ聴く水の音」

### 夏物と縞

縞や縞の夏物は現代の趣味に在りては、味が流行界を支配してゐるところからこれ等も矢張りそれに影響されてゐる、即ち縞においては慶長時代趣味として間道縞や唐襷縞等にヒントを得て、それを夏向きに單純化し、しかもその中に盡きない味を含ませ

### 現代人の趣味

ツタリと適應したものとされてゐる例を示せば二重格子に斜めに縞を應用したなど目先が變つてゐる仲々面

### 一般の

好みに投ずることを期されてゐる、縞物は今夏の新流行として従來の縞に一步を先んじて縞を以て更に縞を組立てたものとか、縞氣分の中にカスリを組立てたもの或はほぐしとカスリとを併生して江戸趣味を

### 見せた

物等もあるこれは東亞シマに對して東亞カスリと呼ばれる。つまり成るべくすつきりと嫌味のないところをねらつたものであるが、一般に夏物と

### 濃厚な

着物では感じがすべて暑くして、ふさはしくない。以上の今年の夏物のシマやカスリは模様物における、慶長時代の模様即瑞泉寺模様とか、彦根屏風とか職人繪づくし或は變つたところで南蠻

### 傳來の

模様などは、純化した現代人の趣味とを含ませ、高尚優雅な好みとしたのと相對照して、仲々面白い試みといふべく、一

### 四倉事件判決

廿七日に言渡

四倉騒擾事件第二回公判は昨記の如くであるが判決言渡は來る廿七日午前九時と決定せる由

### 農會特別傳習

石城郡農會主催特別傳習會は來る廿六日午前九時より神谷村農事試驗分場に於て開催課目講師は左の如くである  
△果樹蔬菜病虫害に驅除豫防に就て、同分場長稲田技師△夏作蔬菜栽培に就て同技師小嶋蘭平